

普及現地情報

発信年月日:令和8年(2026年)7月22日
所 属 名:大津・南部農産普及課
番 号:A26001
発 信 者 名:三木、惣司



近江米新品種「ことさんさん」第1回現地研修会を開催！

当課では令和9年からの本格栽培に向けて、6月24日に管内2か所(大津市・守山市)において、JAレーク滋賀と連携し近江米新品種「ことさんさん」第1回現地研修会(全3回)を開催しました。総勢70名以上の参加があり、「ことさんさん」の品種特性と栽培方法について説明し、「キヌヒカリ」からの品種転換を推進しました。

「キヌヒカリ」は令和7年度の大津・南部管内における水稻作付面積の26%を占めており、主要品種の1つとなっています。しかし、近年は登熟期間の高温による外観品質の低下が著しく、令和7年度の一等比率は11.7%と低くなりました。そのため、当課ではJAレーク滋賀と連携して「キヌヒカリ」から「ことさんさん」への品種転換を推進しています。

本年度は現地研修会を全3回開催予定であり、第1回研修会では40名以上の農業者に加え、JA関係者も30名以上参加されました。当課からは「ことさんさん」の作付推進理由や品種特性、栽培に当たっての注意点を説明しました。その後活発な意見交換が行われ、参加者からは「ことさんさん」に期待する声が多く上がっていました。

第2回研修会は7月29日に開催予定であり、当課は引き続きJAレーク滋賀と連携をとりながら「ことさんさん」の作付拡大を目指します。



現地研修会の様子